

2026 年 5 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026 年 7 月 15 日

上 場 会 社 名 株式会社エス・エム・エス・データテック 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 317A URL <https://www.sms-datatech.co.jp/>
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 哲朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 桐 義一 (TEL) 03-6222-0831
定時株主総会開催予定日 2026 年 8 月 28 日 配当支払開始予定日 -
発行者情報提出予定日 2026 年 8 月 28 日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026 年 5 月期の連結業績 (2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年 5 月期	6,450	13.9	115	△4.6	109	△5.3	77	1.7
2025 年 5 月期	5,663	10.2	121	△31.1	115	△32.4	76	△33.3

(注) 包括利益 2026 年 5 月期 96 百万円 (13.3%) 2025 年 5 月期 85 百万円 (△35.7%)

	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026 年 5 月期	119.44	—	8.0	3.3	1.8
2025 年 5 月期	117.41	—	8.7	4.1	2.1

(参考) 持分法投資損益 2026 年 5 月期 ー百万円 2025 年 5 月期 ー百万円

(注) 1. 当社は 2024 年 9 月 10 日付で普通株式 1 株につき普通株式 100 株の割合で株式分割を実施しております。
そのため、2025 年 5 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026 年 5 月期	3,468	1,014	29.3	1,561.42
2025 年 5 月期	3,260	918	28.2	1,413.09

(参考) 自己資本 2026 年 5 月期 1,014 百万円 2025 年 5 月期 918 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026 年 5 月期	△76	△163	△8	2,153
2025 年 5 月期	51	△91	641	2,402

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年5月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2026年5月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2027年5月期 (予想)	—	—	—		—	

(注) 2027年5月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2027年5月期の連結業績予想 (2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	16.3	102	△11.6	145	32.5	93	20.7	144.20

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社 (社名) 株式会社 ZEALOT、チェックフィールド株式会社、除外 1社 (社名) —

(注) 詳細は、添付資料 P.11「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期	650,000株	2025年5月期	650,000株
② 期末自己株式数	2026年5月期	—株	2025年5月期	—株
③ 期中平均株式数	2026年5月期	650,000株	2025年5月期	650,000株

(注) 当社は2024年9月10日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を実施しております。そのため、2025年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られた一方で、物価上昇や人件費の高騰、為替変動及び国際情勢の不確実性などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

情報サービス業界においては、企業の DX（デジタルトランスフォーメーション）推進、クラウド利用の高度化、生成 AI 関連投資の拡大及びシステム内製化ニーズの高まりを背景に、IT エンジニアに対する需要は引き続き堅調に推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループは既存顧客との取引拡大及び新規顧客の開拓を推進するとともに、営業体制の強化、採用チャネルの拡充及び人材育成の充実に取り組み、エンジニア稼働率の維持・向上に努めてまいりました。また、高付加価値案件へのシフトを進めることで収益基盤の強化を図りました。

さらに、中長期的な成長を実現するため、自社サービスの開発・機能強化を推進するとともに、事業領域の拡大及び企業価値向上を目的として、M&A 及び資本業務提携の検討・推進に積極的に取り組み、人材・顧客基盤・技術力の強化並びにグループシナジーの創出に努めてまいりました。

その結果、売上高はエンジニア稼働数の増加及び取引単価の改善等により前年同期を上回りました。一方で、採用強化及び人材定着を目的とした人件費の増加に加え、自社サービス開発並びに M&A・資本業務提携の推進に係る先行投資を実施したことから、営業利益、経常利益は前年同期を下回る結果となりました。

当連結会計年度における売上高は 6,450,582 千円、営業利益は 115,922 千円、経常利益は 109,527 千円、親会社株主に帰属する当期純利益は 77,633 千円となりました。

また、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は 3,468,962 千円となり、前連結会計年度末に比べ 208,641 千円増加いたしました。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は 2,963,707 千円となり、前連結会計年度末に比べ 93,842 千円減少いたしました。これは主に売掛金が 105,735 千円、その他が 33,879 千円増加した一方で、現金及び預金が 233,797 千円減少したことによるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は 505,254 千円となり、前連結会計年度末に比べ 302,483 千円増加いたしました。これは主に建物が 30,523 千円、建物附属設備が 82,037 千円、工具器具備品が 89,515 千円、のれんが 111,749 千円、投資有価証券が 32,249 千円増加した一方で、前払金が 59,999 千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は 1,303,344 千円となり、前連結会計年度末に比べ 6,156 千円増加いたしました。これは主に 1 年内返済予定の長期借入金が 54,730 千円、未払費用が 24,386 千円、未払消費税等が 11,678 千円、その他が 29,349 千円増加した一方で、買掛金が 119,739 千円減少したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は 1,150,695 千円となり、前連結会計年度末に比べ 106,074 千円増加いたしました。これは主に長期借入金が 118,127 千円、役員退職慰労引当金が 14,313 千円増加した一方で、退職給付に係る負債が 33,141 千円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は 1,014,921 千円となり、前連結会計年度末に比べ 96,411 千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が 77,633 千円、退職給付に係る調整累計額が 18,777 千円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、2,153,232 千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは 76,527 千円の支出となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が 107,306 千円、減価償却費が 20,855 千円であった一方で、売上債権の増加が 52,658 千円、仕入債務の減少が 147,576 千円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは 163,968 千円の支出となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入が 87,446 千円であった一方で、有形固定資産の取得による支出が 219,600 千円、投資有価証券の取得による支出が 32,249 千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは 8,401 千円の支出となりました。これは主に長期借入れによる収入が 300,000 千円であった一方で、長期借入金の返済による支出が 308,094 千円あったことによるものです。

(4) 今後の見通し

2027 年 5 月期の業績予想につきましては、売上高 7,500,469 千円（前年度同期比 16.3%増）、営業利益 102,497 千円（前年度同期比 11.6%減）、経常利益 145,160 千円（前年度同期比 32.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 93,730 千円（前年度同期比 20.7%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS の適用につきましては、国内外の諸情勢、国際的な事業展開や資金調達を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,402,130	2,168,332
売掛金	547,712	653,447
仕掛品	48,426	49,069
貯蔵品	456	408
その他	58,988	92,867
貸倒引当金	△163	△418
流動資産合計	3,057,549	2,963,707
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	-	30,523
建物附属設備(純額)	6,958	88,996
工具器具備品(純額)	4,531	94,047
リース資産(純額)	-	1,388
有形固定資産合計	11,490	214,954
無形固定資産		
ソフトウェア	3,289	2,197
のれん	-	111,749
その他	-	137
無形固定資産合計	3,289	114,083
投資その他の資産		
投資有価証券	30,263	62,512
繰延税金資産	9,631	17,019
前払金	59,999	-
その他	88,096	96,683
投資その他の資産合計	187,990	176,215
固定資産合計	202,770	505,254
資産合計	3,260,320	3,468,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	319,490	199,750
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	280,052	334,782
未払費用	135,241	159,627
未払法人税等	18,300	24,051
未払消費税等	67,155	78,833
その他	176,949	206,299
流動負債合計	1,297,188	1,303,344
固定負債		
長期借入金	583,042	701,169
退職給付に係る負債	354,755	321,614
役員退職慰労引当金	106,823	121,137
その他	-	6,775
固定負債合計	1,044,621	1,150,695
負債合計	2,341,809	2,454,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,500	32,500
資本剰余金	4,490	4,490
利益剰余金	847,146	924,780
株主資本合計	884,137	961,771
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	34,372	53,150
その他の包括利益累計額合計	34,372	53,150
純資産合計	918,510	1,014,921
負債純資産合計	3,260,320	3,468,962

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	5,663,627	6,450,582
売上原価	4,436,940	4,941,670
売上総利益	1,226,686	1,508,911
販売費及び一般管理費	1,105,216	1,392,989
営業利益	121,469	115,922
営業外収益		
受取利息	998	3,775
助成金収入	1,003	-
その他	483	704
営業外収益合計	2,485	4,479
営業外費用		
支払利息	8,177	10,841
その他	95	32
営業外費用合計	8,273	10,874
経常利益	115,681	109,527
特別利益		
負ののれん発生益	-	5,505
特別利益合計	-	5,505
特別損失		
固定資産除却損	-	4,727
役員退職慰労金	-	3,000
特別損失合計	-	7,727
税金等調整前当期純利益	115,681	107,306
法人税、住民税及び事業税	42,786	43,303
法人税等調整額	△3,421	△13,630
法人税等合計	39,365	29,672
当期純利益	76,315	77,633
親会社株主に帰属する当期純利益	76,315	77,633

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
当期純利益	76,315	77,633
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	8,765	18,777
その他の包括利益合計	8,765	18,777
包括利益	85,081	96,411
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	85,081	96,411

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	32,500	4,490	770,830	807,821
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益			76,315	76,315
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				-
当期変動額合計	-	-	76,315	76,315
当期末残高	32,500	4,490	847,146	884,137

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	25,607	25,607	833,429
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			76,315
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	8,765	8,765	8,765
当期変動額合計	8,765	8,765	85,081
当期末残高	34,372	34,372	918,510

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	32,500	4,490	847,146	884,137
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益			77,633	77,633
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				-
当期変動額合計	-	-	77,633	77,633
当期末残高	32,500	4,490	924,780	961,771

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	34,372	34,372	918,510
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			77,633
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	18,777	18,777	18,777
当期変動額合計	18,777	18,777	96,411
当期末残高	53,150	53,150	1,014,921

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	115,681	107,306
減価償却費	8,071	20,855
のれん償却額	-	12,554
負ののれん発生益	-	△5,505
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△178	19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,031	14,313
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,595	△1,588
受取利息及び受取配当金	△998	△3,786
支払利息	8,177	10,841
固定資産除却損	-	4,727
売上債権の増減額(△は増加)	△41,983	△52,658
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,983	△594
仕入債務の増減額(△は減少)	35,155	△147,576
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,526	8,504
未払費用の増減額(△は減少)	41,514	7,567
その他	△21,684	△6,208
小計	118,681	△31,228
利息及び配当金の受取額	998	3,786
利息の支払額	△8,294	△10,782
法人税等の支払額	△60,213	△38,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,172	△76,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	600
有形固定資産の取得による支出	△1,737	△219,600
無形固定資産の取得による支出	△214	△166
投資有価証券の取得による支出	△30,030	△32,249
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	87,446
子会社株式取得に係る前払金の支出	△59,999	-
貸付金の回収による収入	398	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,583	△163,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	-
長期借入れによる収入	600,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△258,446	△308,094
リース債務の返済による支出	-	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー	641,554	△8,401
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	601,143	△248,897
現金及び現金同等物の期首残高	1,800,986	2,402,130
現金及び現金同等物の期末残高	2,402,130	2,153,232

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

当連結会計年度において、株式会社 ZEALOT 及びチェックフィールド株式会社の全株式を取得し子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	1,413円09銭	1,561円42銭
1株当たり当期純利益	117円41銭	119円44銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	76,315	77,633
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	76,315	77,633
普通株式の期中平均株式数(株)	650,000	650,000

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、株式会社 ZEALOT の株式取得について 2025 年 5 月 23 日開催の取締役会で決議し、2025 年 6 月 1 日付で全株式を取得し、完全子会社化しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社 ZEALOT

事業内容 アプリケーションソフトウェアの企画・開発・販売・受託開発及び保守・点検等

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社 ZEALOT (以下、「ZEALOT 社」) はクラウドサービス分野において高い専門性と豊富な実績を有しており、当社の既存事業との高い親和性を有しております。特に、両社が保有する技術・ノウハウ・顧客基盤を統合することで、サービスラインの強化および多角化による収益基盤の安定

化、両社の人材・開発リソースの最適化による効率的な運営体制の構築、新規市場への展開加速およびブランド力の強化のようなシナジーが期待されます。

また、完全子会社化により、経営方針の統一や迅速な意思決定を可能とし、グループ全体としての機動的かつ戦略的な事業展開が実現できるものと判断しております。これらの理由により、当社は ZEALOT 社の完全子会社化を行うことが、企業価値の向上および株主利益の最大化に資するものであると考えております。

(3) 企業結合日

2025 年 6 月 1 日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後の企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式会社 ZEALOT の株式を取得したためです。

2. 連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025 年 6 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	59,999 千円
取得原価		59,999 千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用等

3,600 千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

(1) 発生したのれん

62,773 千円

なお、中間連結会計期間において、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度末において取得原価の配分が完了しております。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5 年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	52,104 千円
固定資産	13,932 千円
資産合計	66,037 千円
流動負債	29,558 千円
固定負債	39,253 千円
負債合計	68,811 千円

(取得による企業結合)

当社は、チェックフィールド株式会社の株式取得について 2026 年 5 月 29 日開催の取締役会で決議し、2026 年 5 月 29 日付で全株式を取得し、完全子会社化しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 チェックフィールド株式会社

事業内容 通信システム、情報システム、オフィスオートメーションシステムに係わる技術及び運用についての調査、事業企画又、それらのコンサルタント業等

(2) 企業結合を行った主な理由

チェックフィールド株式会社（以下、「チェックフィールド社」）は顧客の情報システム部への運用アドバイスから、ヘルプデスク・サーバ運用・キッティング等業務のアウトソーシング分野において高い専門性と豊富な実績を有しており、当社の既存事業との高い親和性を有しております。特に、両社が保有する技術・ノウハウ・顧客基盤を統合することで、より戦略的な事業展開が実現できるものと判断しております。

また、完全子会社化により、経営方針の統一や迅速な意思決定を可能とし、グループ全体としての機動的かつ戦略的な事業展開が実現できるものと判断しております。これらの理由により、当社はチェックフィールド社の完全子会社化を行うことが、企業価値の向上および株主利益の最大化に資するものであると考えております。

(3) 企業結合日

2026 年 5 月 29 日（みなし取得日 2026 年 5 月 31 日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後の企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価としてチェックフィールド株式会社の株式を取得したためです。

2. 連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2026 年 5 月 31 日をみなし取得日としており、貸借対照表のみ連結しているため、連結損益計算書に被取得企業の業績を含んでおりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	30,000 千円
取得原価		30,000 千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等
10,000 千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

61,530 千円

なお、のれんは、当連結会計年度末において、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的な情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

効果の発現する期間にわたって均等償却する予定であります。また、償却期間については、現時点では確定しておりません。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	130,328 千円
固定資産	11,423 千円
資産合計	141,752 千円
流動負債	57,623 千円
固定負債	115,103 千円
負債合計	172,726 千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。